

記者発表資料

## 平成29年度 横浜国道事務所の事業概要

～圏央道(高速横浜環状南線・横浜湘南道路)の整備を推進します～

横浜国道事務所では、首都圏中央連絡自動車道、厚木秦野道路等の整備や道路の管理を行っています。平成29年度は、約419億円(維持管理費を除く)で事業を実施します。主な事業は、以下のとおりです。

### 《主な事業内容》

しゅとけんちゆうおうれんらくじどうしゃどう けんおうどう  
■ 国道468号 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)〈H29事業費:320.65億円〉

かなざわ とつか こうそくよこはまかんじょうみなみせん

・ 金沢～戸塚【高速横浜環状南線】

道路設計、埋蔵文化財調査、用地買収及び改良工事、橋梁上下部工事等を実施します。

よこはましようなんどうろ

・ 横浜湘南道路

道路設計、環境調査、用地買収及び立坑工事、トンネル工事、橋梁工事、改良工事等を実施します。

あつぎはだのどうろ

■ 国道246号 厚木秦野道路〈H29事業費:35.05億円〉

あつぎ

厚木地区は、道路設計、環境調査及び用地買収等を、伊勢原地区は、道路設計、環境調査、

用地買収、埋蔵文化財調査、橋梁下部工事等を、伊勢原西～秦野中井は、道路設計、地質調査、環境調査、用地調査等を実施します。

はだの

■ 国道246号 秦野IC関連〈H29事業費:7.0億円〉

道路設計、環境調査、移設補償、埋蔵文化財調査及び橋梁下部工を実施します。

とうきょうわんがんだうろ かながわけんくかん

■ 国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)〈H29事業費:1.85億円〉

ほんもく

なつしま

本牧地区は、改良工事を実施します。また、夏島地区は、調査設計等を実施します。

■ 交通安全事業〈H29事業費:15.01億円〉

おおいそ にのみや  
国道1号 大磯～二宮自転車通行環境整備

自転車が安全・安心に通行できる自転車通行空間の整備等を実施します。

■ 電線共同溝事業〈H29事業費:34.37億円〉

電線類の地中化及び路面復旧工事等を実施します。

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ／神奈川建設記者会／神奈川県政記者クラブ  
横浜ラジオ・テレビ記者会／川崎記者クラブ

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所  
〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2  
電話 045-311-2981(代表)

副所長[改築] 五十嵐 一夫 (いがらし かずお) (内線204)

副所長[管理] 中原 浩慈 (なかはら こうじ) (内線205)

## 平成29年度 横浜国道事務所 事業費

(単位:百万円)

事業名		H29事業費
改築事業		36,915
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)【高速横浜環状南線】	10,520
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(横浜湘南道路)	21,545
	国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)	185
	国道246号 厚木秦野道路	3,195
	国道246号 秦野IC関連	700
	国道246号 厚木秦野道路(伊勢原西～秦野中井)	310
	国道1号 新湘南バイパス	30
	国道16号 神奈川16号環境対策	130
	国道1号 神奈川湘南1号環境対策	55
	国道246号 神奈川西部246号環境対策	55
	国道1号 川崎1号環境整備	170
	国道16号 横須賀地区トンネル改修	20
交通安全事業	国道1号 大磯～二宮自転車通行環境整備 他6箇所	1,501
電線共同溝事業	国道1号 小和田電線共同溝 他20箇所	3,437
合計		41,853

※上記の他、維持管理費、調査費等がある。

# 横浜国道事務所の主な事業



# 国道468号 首都圏中央連絡自動車道[金沢～戸塚]

(横浜市、鎌倉市)

平成29年度事業費：105.2億円

## 概要

こうそくよこはまかんじょうみなみせん

圏央道[金沢～戸塚]【高速横浜環状南線】は、横浜都心から概ね半径10～15kmの位置に計画された横浜環状道路の一部であり、横浜市内の交通の利便性向上や交通渋滞の緩和、地域拠点間の連絡強化、周辺地域の活性化に寄与することを目的とした道路です。

## これまでの状況

かまりやちよう

ぐみざわちよう

横浜市金沢区釜利谷町～横浜市戸塚区汲沢町までの延長8.9km(一部事業は東日本高速道路(株)が担当)について、道路設計、用地買収及び栄IC・JCT橋下部工事、田谷地区地盤改良工事等を実施しており、用地進捗率は約97% ※ (平成29年3月末現在)となっています。

また、平成27年10月に土地収用法に基づく事業認定告示がされました。

※ 事業認定申請における事業地(起業地)を基にした取得率

## 平成29年度の予定

道路設計、埋蔵文化財調査、用地調査、用地買収及び戸塚IC改良工事、栄IC・JCT橋上下部工事、栄地区の改良工事等を実施します。

かまりや

とつか

《開通の見通し》釜利谷JCT ～ (仮称)戸塚IC間 「平成32年度※1」開通予定

※1 土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合



【栄区飯島付近状況(平成29年3月撮影)】



【栄IC・JCT付近状況(平成28年3月撮影)】



# 国道246号 厚木秦野道路

あつぎはだのどうろ

(厚木市、伊勢原市、秦野市)

平成29年度事業費(厚木地区、伊勢原地区):31.95億円

平成29年度事業費(伊勢原西～秦野中井): 3.10億円

## 概要

国道246号厚木秦野道路は、国道246号のバイパスとして、東名高速道路、新東名高速道路、圏央道と相互に連絡し、県央地域の広域的なネットワークを形成する道路です。

## これまでの状況

厚木地区においては、これまで道路設計、環境調査及び用地買収、伊勢原地区においては、道路設計、環境調査、用地買収、埋蔵文化財調査、橋梁下部工事及び改良工事、伊勢原西～秦野中井においては、道路設計、環境調査、地質調査等を実施しています。

## 平成29年度の予定

厚木地区は、道路設計、用地調査、環境調査及び用地買収を、伊勢原地区は、道路設計、環境調査、用地買収、埋蔵文化財調査、橋梁下部工事及び改良工事を、伊勢原西～秦野中井は、道路設計、地質調査、環境調査、用地調査、橋梁設計及びトンネル設計を実施します。

### 国道246号 厚木秦野道路 延長29.1Km



# 国道246号 はだの かんれん 秦野IC関連

(秦野市)

平成29年度事業費:7.0億円

## 概要

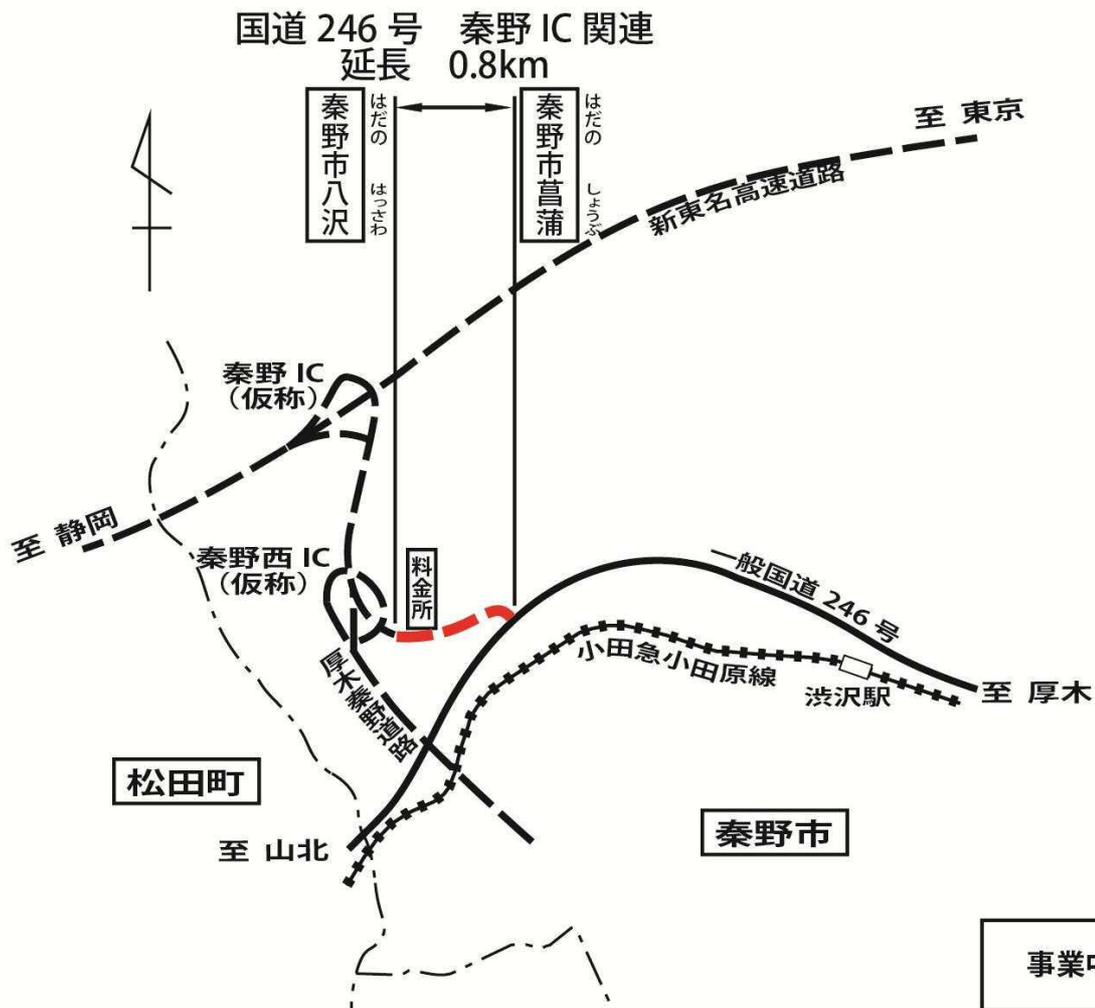
国道246号秦野IC関連は、新東名高速道路と国道246号を接続するインターアクセス道路整備事業です。

## これまでの状況

秦野市しょうぶ菖蒲～秦野市はっさわ八沢の間の延長0.8Kmについて、調査設計、環境調査、地質調査、埋蔵文化財調査及び用地買収を実施しています。

## 平成29年度の予定

道路設計、環境調査、移設補償、埋蔵文化財調査及び橋梁下部工を実施します。



# 国道357号 とうきょうわんがんだうろ (神奈川県区間)

(横浜市、横須賀市)

平成29年度事業費: 1.85億円

## 概要

国道357号東京湾岸道路は、東京湾に面する千葉・東京・神奈川の各都市を結ぶ延長約80kmの幹線道路であり、東京湾岸道路の一部として位置付けられています。

本道路の整備により、都市内の交通渋滞緩和、空港や湾岸地域の物流拠点とのアクセス向上など、物流の効率化を図ります。

## これまでの状況

国道357号東京湾岸道路(神奈川県区間)は、川崎市川崎区浮島町から横須賀市夏島町までの間の延長35.1kmの区間であり、そのうち当事務所は横浜市鶴見区大黒ふ頭から横須賀市夏島までの延長での延長22.3kmの整備を行っています。

本牧地区が平成28年3月に開通し、これまでに横浜市鶴見区大黒ふ頭から横浜市金沢区八景島までの延長20.0kmが暫定2~4車線で開通しています。

## 平成29年度の予定

本牧地区は、改良工事を実施します。また、夏島地区は、調査設計等を実施します。



【本牧地区付近(平成28年4月撮影)】



【本牧地区付近(平成28年3月撮影)】

# 国道16号 神奈川県 神奈川16号環境対策

(横浜市)

平成29年度事業費: 1.30億円

## 概要

国道16号神奈川16号環境対策は、神奈川県内の国道16号(延長73.4km)における騒音環境の改善を目的とした沿道環境整備事業です。

横浜国道事務所では、管内の国道16号の延長56.8kmの整備を推進します。

## 平成29年度の予定

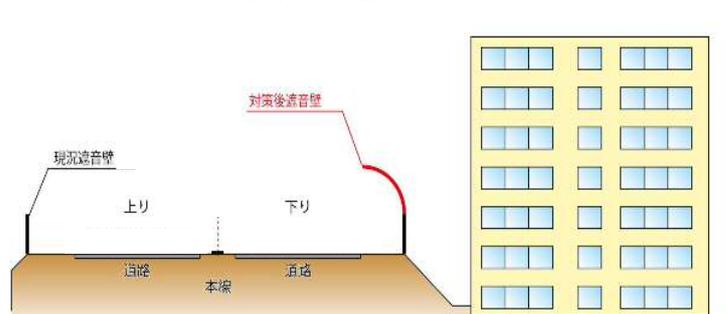
環境対策検討及び環境対策工を実施します。



【現況写真(国道16号保土ヶ谷BP)】



【対策の例】



# 国道1号 かわさき ごうかんきょうせいび 川崎1号環境整備

(川崎市)

平成29年度事業費:1.70億円

## 概要

国道1号川崎1号環境整備は、川崎市内の国道1号における歩行環境、自動車交通の円滑化、大気・騒音環境の改善など、道路と沿道が一体となったゆとりある「みち」と「まち」づくりを進めることを目的とした沿道環境整備事業です。

## これまでの状況

こむかいなかのちょう

やなぎちょう

川崎市幸区小向仲野町～川崎市幸区柳町間の延長2.8kmについて、環境対策の検討を実施しています。

## 平成29年度の予定

道路設計、用地買収及び改良工を実施します。



【歩道整備前の状況】  
(川崎市幸区小向仲野町下り線)



【歩道整備後の状況】  
(川崎市幸区小向仲野町下り線)

# 国道16号 横須賀地区トンネル改修

(横須賀市)  
平成29年度事業費:0.20億円

## 概要

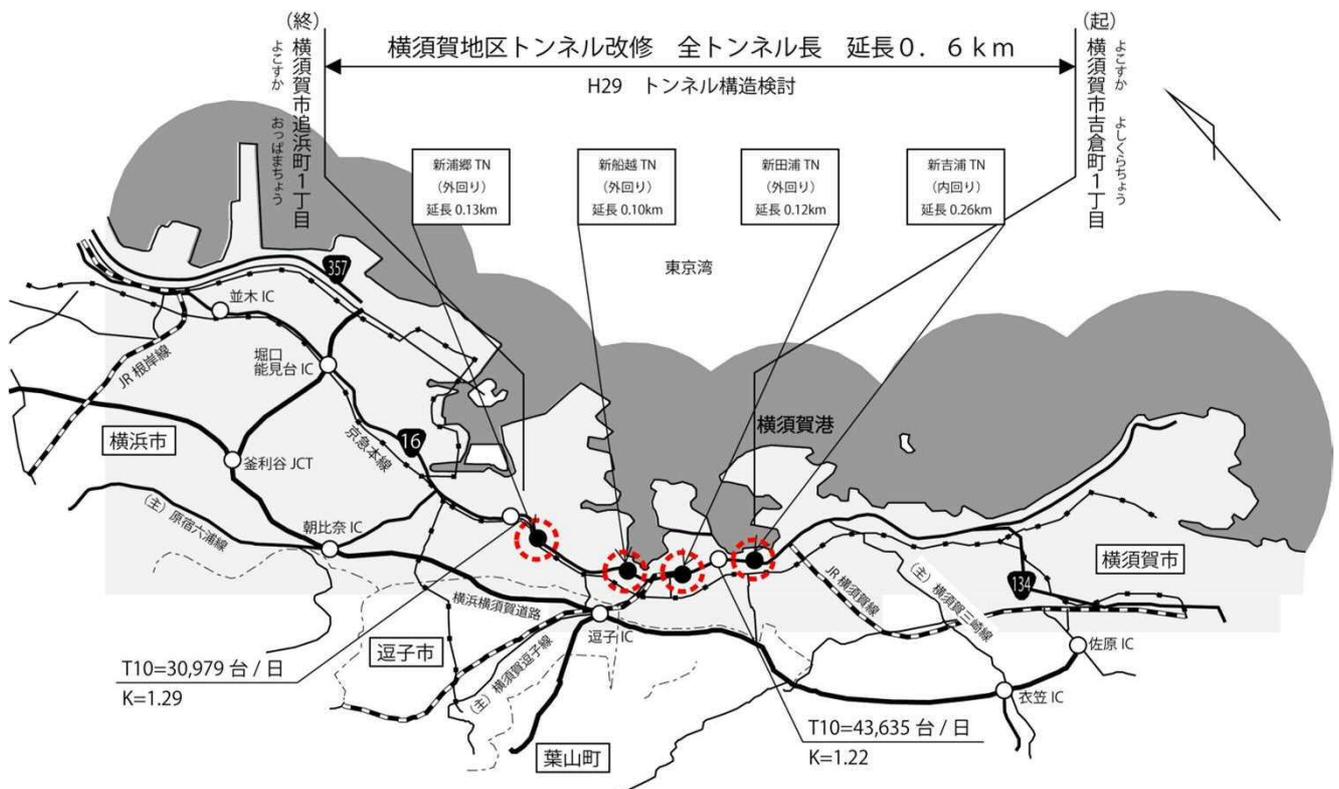
国道16号横須賀地区トンネル改修は、横須賀市内の国道16号における、老朽化が著しいトンネルのうち抜本的な対策の必要性が高いものを対象に、改修整備を行い交通の安全性の確保や円滑化を図るものです。

## これまでの状況

横須賀市吉倉町1丁目～横須賀市追浜町1丁目までの間に存在する、新浦郷、新船越、新田浦、新吉浦トンネルの4カ所のトンネルにおいて、調査設計を実施しています。

## 平成29年度の予定

トンネル構造検討を実施します。



交通安全対策事業

# 国道1号 大磯～二宮自転車通行環境整備事業

(神奈川県)

平成29年度事業費:0.72億円

## 概要

本事業は、西湘バイパス沿いの既設自転車道(自転車歩行者道)を延伸し、自転車が安全・安心に通行できる自転車通行空間の確保を行うものです。

## 平成29年度の予定

調査設計及び工事を実施する予定です。

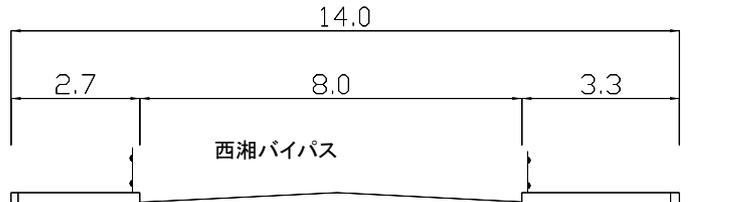
### 位置図



### 国道1号現道部の状況

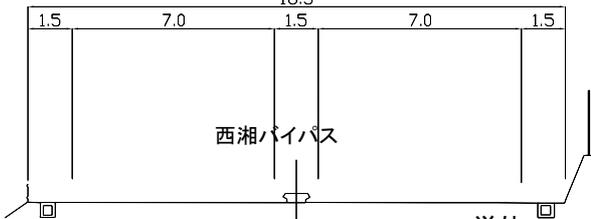


### 国道1号現道部 現況断面図



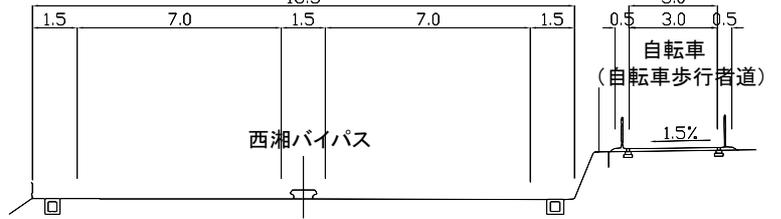
単位:m

### 現況断面図



単位:m

### 計画断面図



単位:m

### 平面図



# 電線共同溝事業

平成29年度事業費:34.37億円

## 概要

電線共同溝の整備により無電柱化を図り、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観や防災性の向上等を図ることを目的として整備を実施します。

## 平成29年度の予定

今年度も引き続き、本体工事、路面復旧工事等を実施します。

### 【主な事業箇所】

国道 1号 こわだ 小和田電線共同溝

国道 16号 金沢(2)電線共同溝

国道 246号 溝の口(2)電線共同溝 他18箇所

- 電線共同溝整備の事例 (国道16号 保土ヶ谷電線共同溝)

### 【整備前】



### 【整備後】



# 維持管理

## 概要

横浜国道事務所では国道1号、15号、16号、246号、357号、409号の6路線、延長約263kmを管理しており、道路を安全で安心して利用していただくため、巡回、清掃、路面補修などを実施しています。

また、高度経済成長期に集中して建設された道路ストックなどを中心に長寿命化等予防保全対策を実施します。



巡回  
(落下物回収)



清掃  
(路面清掃・排水施設清掃等)



路面補修

台風、集中豪雨、異常時巡回の実施や緊急処理を実施し、交通の確保を行います。

降雪時、凍結防止剤の散布や除雪作業を行います。



台風後の路面清掃  
(国道1号西湘バイパス)



除雪作業  
(国道1号箱根新道)

# 維持管理

## 維持管理に係る取組

横浜国道事務所では、沿道住民の方々、地元自治体、地元小学校、地元企業と協同して、維持管理に係る様々な取組を試行的に実施しています。

### 1) 除草・剪定の実施時期のお知らせの試行

除草・剪定の予定時期に関する問い合わせが多い地域を対象に、地域住民や道路利用者に対して、除草の予定時期を看板に記載し、お知らせしています。



国道1号 歩道部 (横浜市戸塚区)

### 2) 道路美化活動に係る啓発活動

#### 取り組み活動の様子



※平成29年2月1日実施

【国道15号川崎ハローブリッジにおける環境美化に対する啓発活動の例】  
地元小学校の児童及び川崎市と協同して実施しています。

【国道246号厚木市金田地先における清掃活動及び、環境美化に対する啓発活動の例】  
地元小学校の児童及びPTA、地元自治会、及び厚木市と協同して実施しています。

#### 取り組み活動の様子



※平成28年10月15日実施

※この他、国道357号東扇島地区でも平成28年度に実施しました。

# 維持管理

## 主な事業

重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁等を定期的に点検して、劣化や損傷が生じた箇所を補修し、長寿命化を図ると共に、第三者被害に対するさらなる安全性の確保のための橋梁補修を実施します。

橋梁点検状況（遠景）



橋梁点検状況（近景）



【国道246号 橋梁点検車における橋梁点検事例】

橋梁補修 施工前



橋梁補修 施工中



【国道16号保土ヶ谷バイパス 南本宿高架ランプ橋における橋梁補修事例】

# 災害を想定した実働訓練の実施

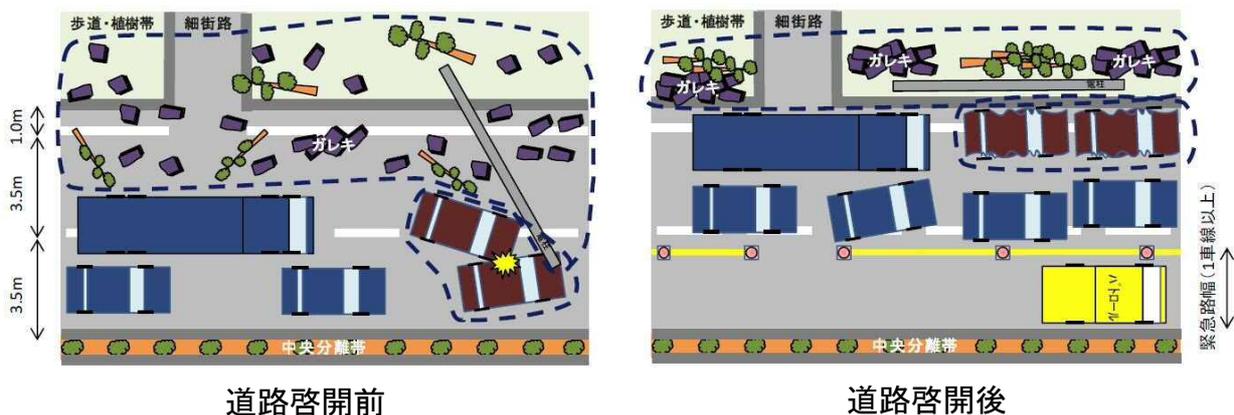
## 概要

平成26年11月21日に施行された災害対策基本法改定に伴い、災害時において、大量の立ち往生車両や放置車両発生により緊急車両の通行の妨げとなる車両の移動が道路管理者自ら実施できることとなりました。

横浜国道においては、防災力の強化を図るため、大雪時、地震時などの災害を想定した建設機械等による車両移動の実働訓練を実施しています。

## 災害時の道路啓開

### 道路啓開イメージ



## 平成28年度 災害時を想定した車両移動の実働訓練状況

### フォークリフトによる訓練状況



### クレーンによる車両移動状況

